

12月18日

新譜「我^(わ)した島沖繩^(うちな)」 他をレッスン

□12月18日(日)は今年最後のレッスン日、佃さんの体操(初登場)、檀先生のヴォイストレーニングに始まり、伊藤さんの指揮、静さんのピアノで、新譜「我した島沖繩(わしたしまうちな)」から「芭蕉布」と「安里屋ユンタ」を(ほかに「島唄」の楽譜も配布)、そのあと、本並先生の指揮で、「天の火」と「歓びのナーダム」をレッスンしました。参加は全31名でした。



□佃さんの紹介で**吉本さんが入団**され、今日のレッスンに参加されました。佃さんとは「ゾウ列車・・・」で一緒された御縁です。現役のお仕事で忙しい中ですが、がんばって参加できるよう努力されるそうです。大歓迎です！これからよろしく！

□また、来春から、先日昴が公演した「都島九条の会」のお世話をされている**三谷さんが入団**されるそうです。大歓迎、よろしくお願ひします！

□昴CMコンサート(6/9・阿倍野区民センター小ホール)の名前が「**昴ってどなたどこ？コンサート**」という親しみがあって、中身をよく表す名前になりました。関西を5ブロックにわけて、宣伝・オルグに回ります。図表を貼りだしてありますので、自分の担当したいブロックに名前を記入してください(1月中旬)。プロジェクトのみなさんにより中身とスケジュールがかたまってきています。



昴ってどなたどこ？コンサート

- 日 程 2012年6月9日(土) 14時～
- 会 場 阿倍野区民センター小ホール
- プログラム 1部 映像・昴の歩んだ道、団員の声
2部 レッスン体験＝体操・発声・レッスン「歓びのナーダム」
3部 コンサート、団長からの訴え
- 参加資料代 500円
- プロジェクト実行委員 岡邑、中谷、佃、長屋、西島

□ 千秋団長が声楽レッスンを受けている山村先生の息子さんである山村智哉さんは、ドイツでオーボエ奏者をされていましたが、今、日本で音楽教師をされたあと、独立して、(株)シユテムという、日本とドイツを音楽で結ぶ企画会社をされています。妹さんもドイツで声楽家をされています。先号で載せたように、ドイツは純粹に音楽を楽しむ素地があるので、ぜひ、**ドイツで公演**をしないかと話を持ちかけられ、12月18日の運営委員会に説明に来られました。概略、「来年11月下旬頃、場所はデュッセルドルフと近郊、2公演程度、ローレライなど近郊観光も含む、全行程1週間位」の予定です。費用などの資料をいただいたうえで検討することになりました。

12月18日

「昴」2011年望年会 開催される

□ 12月18日(日)今年最後のレッスンの後「興隆園」に場所を移して、「昴・望年会」を賑やかに開催しました。藤後名誉団長の乾杯の音頭にはじまり、「乾杯のうた」を皮切りに「歓びのナーダム」など、昴の元気な持ち歌が高らかに歌い上げられ、充実した今年を振り返っての元気なスピーチがつづきました。



□ 「昴ってどんどこ？コンサート」を成功させ、団員を倍増させるべく、一同決意を新たにしました。



「私の好きなこの街コンサート」のお仲間、村嶋由紀子さんと田中牧子さんも参加されました。



大阪自治労連うたごえ祭典 昴・ゲスト出演

- 2012年1月15日(日) 14時集合、
15時20分出演
- クレオ大阪北(阪急淡路駅 徒歩10分)
- **赤シャツ**・九条バッジ
- 私の好きなこの街、林道人夫、死んだ男の残したものは、ねがい、百万本のバラ、歓びのナーダム、フィンランディア



西島さんの写真あそび



「遂にあきらめざるを得ない！奇跡の一本松」

替え歌「別れの一本松」

- 一 津波津波
こらえきれずに 流されし
友らと別れた 哀しさに
浜の鷗も 鳴いて飛ぶ
一本松の ガレキの山にヨ
君想う
- 二 広い広い
白砂青松 光る海
思い出します 空遥か
遠くはなれし 父母や姉
一本松の 少女の歌にヨ
何思う
- 三 永く永く
3. 11めぐり来る
忘れちゃいやだよ この俺を
帰りひたすら 待っている
一本松の 再生やっぱりヨ
ここがいい

投稿：西島さん

海音(かのん)ちゃんと「みかづきスマイル」余話

壊滅的な被害を受けた陸前高田市だが、海音ちゃんが引きとられた祖父母の家は崩壊はまぬがれたものの、断水でトイレは使えず、各家庭の庭先には仮設トイレが設置されている。夜、寝る前に必ずトイレに行く海音ちゃんは、よく夜空を見上げる。ある日の三日月を見て、「あのお月さま、お姉ちゃんの笑い顔に似てるね」と。———この記事を見た人が、「みかづきスマイル」の歌がはいっている「ロケットくれよん」の震災復興支援CDを海音ちゃんにプレゼント、海音ちゃんが「私の好きなこの街コンサート」でマイクを握り、この「みかづきスマイル」をひとりでアカペラで歌って感動させてくれたのは既報の通り。

(週刊女性 親を亡くした子どもたち② から。 村嶋由紀子さん提供)

12月23日パナソニックの**松本愛輔さんの告別式**がありました。

昴で歌を歌ってほしいという遺言もあり元パナソニック勤務の岡邑・橋本・石橋で歌うつもりでしたが低音ばかりなので千秋団長にも加わってもらい4人で「同志はたおれぬ」と「フィンランディア」を歌いました。その歌が良かったと遺族・親族 参列者から、おほめの言葉がありお礼も頂きました。4人ともこのお金は昴 に入れることに異論はなく1月のレッスンの時、財政に入金させていただきます。

告別式は無宗教で行われましたが私の家内の習字の先生もコーラスが良かった と言っているそうです。
岡邑さんのメールから

「芭蕉布」と「安里屋ユンタ」の資料：山本直一さん提供

芭蕉布

海の青さに空の青
南の風に緑葉の
芭蕉は情けに手を招く
常夏の国 我した島
沖縄（うちな）

首里の古城の石畳
昔を偲ぶかたほとり
実れる芭蕉熟れていた
緑葉の下 我した島
沖縄（うちな）

今は昔の首里天加那志（すいてんぢゃなし）
唐ヲウむぎ機を織り
上納捧げた芭蕉布
浅地（あさじ）紺地（くんじ）の 我した島
沖縄（うちな）

海の青さに空の青
南の風に緑葉の
芭蕉は情けに手を招く
常夏の国 私たちの島
沖縄

首里の古城の石畳
昔を偲ぶかたほとり
実れる芭蕉熟れていた
緑葉の下 私たちの島
沖縄

今は昔の首里王様
芭蕉の糸を紡ぎ機（はた）を織り
上納捧げた芭蕉布
浅地紺地の 私たちの島
沖縄

芭蕉布：芭蕉の茎の繊維を糸に加工し、織り上げたもの。琉球王朝の元では租税として上納させられた。

わたした：われら。われわれ。われらの。

かたほとり：「周辺」「片田舎」という意味。

首里天加那志（すいてんぢゃなし）：首里の王を指した尊敬した言い方。首里王様。

唐ヲウ：糸芭蕉で作った糸（中国から渡来したいとの意味）

<http://taru.ti-da.net/e1014766.html> より抜粋

浅地紺地（あさじくんじ）：一藍染めの染色の濃度を示す表現として、濃い順に紺地、深浅地、浅地の3段階に分ける。濃いほど美しいと言われる。

沖縄の美しい自然と、基地から飛び立つ飛行機が重なる映像が頭に浮かびます。どうしても今、沖縄が抱えている問題とダブってしまい、この歌をうたう度に考えさせられます…

<http://www.futenma.net/disco/mafue.htm> より抜粋

安里屋ユンタ

サー安里屋ぬくやまにヨ サーユイユイ あん美らさ (ちゅらさ) 生 (ま) りばしヨ マタハリヌ チンダラ カヌシャマーヨ マタハリヌ チンダラ カヌシャマーヨ	安里屋 (という屋号) のクヤマに あのように美しく生まれて
サー目差主 (めざししゅ) ぬ乞 (く) ゆだらヨ サーユイユイ あたる親 (あたるや) ぬ 望 (ず) むたヨ マタハリヌ・・・	目差主が乞うたら 役人が望んだ
サー目差主 (みざししゅ) ぬ我な否 (ばなんば) ヨ サ ーユイユイ あたる親 (あたるや) くりや嫌す (おいす) ヨ マタハリヌ・・・	目差主は私は嫌 役人は私は嫌
サー何故で (なゆで) から否 (んば) はずヨ サーユイユイ 如何で (いきやで) から嫌 (ゆむ) ですヨ マタハリヌ・・・	何故嫌なのです 如何に嫌です

あん美らさ (あんちゅらさ) : あのように美しく

目差主 (みざししゅ) : 琉球時代の役職名。与人 (村長) の下役。下級役人

あたる親 (あたるや) : 当たり親の意で、琉球時代に自分たちの上にいる役人を言う

我な (ばな) : 私は。

否 (んば) : いや。

くりや : 私は。

絶世の美女をめぐる昔の役人の行為。こういう構図は現代も変わらない。天下り役人。利権にむらがる企業。その行き着く先は、弱いものへのしわ寄せ。「俺の現地妻になれ」と強要された竹富のクヤマがどうしたか。拒否した、という歌もあり、受け入れたという歌もある。

<http://taru.ti-da.net/e828093.html> より抜粋

琉球王国時代の竹富島に実在した絶世の美女・安里屋クヤマ (1722年 - 1799年) と、王府より八重山に派遣されクヤマに一目惚れした目差主 (みざししゅ。下級役人) のやり取りを面白おかしく描いている。

歌詞中の「マタハリヌ チンダラ カヌシャマヨ」は八重山方言の古語で「また逢いましょう、美しき人よ」の意であるとされるが、インドネシア語で「太陽は我らを等しく愛する」の意味も込められている、との説もある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AE%89%E9%87%8C%E5%B1%8B%E3%83%A6%E3%83%B3%E3%82%BF> より抜粋

男声合唱団 昂 2012. 1月～3月のレッスン他行事予定表

1	3	火	初詣宣伝	1400	南森町駅
	6	金	〇定例レッスン	1800	
	10	火	BRパートレッスン	1830	
	15	日	大阪自治労連うたごえ祭典	1400	クレオ大阪北
	17	火	BSパートレッスン	1830	
	18	水	千秋教室	1830	(コンコーネ)
	20	金	〇定例レッスン	1800	
	24	火	T1パートレッスン	1600	～1800
	28	土	市内南部サークル交流会 (日うた学習・合同レッスン)	1800	ドーンセンター
	29	日	運営、企画委員会	1100	
	29	日	〇定例レッスン	1400	
2	1	水	千秋教室	1830	
	3	金	檀教室	1600	～1730
	3	金	〇定例レッスン	1800	
	5	日	大うたがんばろフェスタ	1300	ヴィアーレ大阪
	7	火	T2パートレッスン	1800	
	14	火	BRパートレッスン	1830	
	17	金	〇定例レッスン	1800	
	19	日	運営、企画委員会	1100	
	19	日	〇定例レッスン	1400	
	21	火	BSパートレッスン	1830	
	28	火	T1パートレッスン	1600	
3	2	金	檀教室	1600	～1730
	2	金	〇定例レッスン	1800	
	4	日	大阪のうたごえ協議会総会	1000	国労会館
	6	火	T2パートレッスン	1800	
	7	水	千秋教室	1830	
	13	火	BRパートレッスン	1830	
	16	金	〇定例レッスン	1800	
	18	日	運営、企画委員会	1100	
	18	日	〇定例レッスン	1400	
	20	火	BSパートレッスン	1830	
	27	火	T1パートレッスン	1600	～1800

- ・私の好きなこの街
- ・林道人夫
- ・死んだ男の
- ・ねがい
- ・百万本のバラ
- ・歓びのナーダム
- ・フィンランディア

現在決まっている行事（3月以降）

5	12	土	守口9条の会のつどい公演		
6	9	土	「昂ってどんなとこ？コンサート」	1400	阿倍野区民センター
6	10	日	保険医協会50周年つどい公演		大阪中央公会堂